

今月の憂いコト

サッカーW杯から、  
大阪府北部地震、  
西日本豪雨被害、  
記録的猛暑まで。

東京・大田区にあるカフェ&レンタルスペース「蓮月」で、  
中庭で採れた梅からつくった梅ソーダを飲みながら、  
2階の畳の間で対談を始めた田中、浅田両氏。  
サッカーワールドカップの話題に花(?)を咲かせ、  
間違いだらけな日本の治水・治山が生んだ  
西日本豪雨の被害についても語り合った。

photographs by Hiroshi Takaka text by Kentaro Matsui

決勝リーグに進出したけど、  
日本は本当にフェアプレー？

浅田 今回は池上本門寺門前の「蓮月」に  
お邪魔してる。昔の蕎麦屋の建物を受け継  
いだ古民家カフェだけど、いい感じだね。

本門寺は日蓮の終焉の地で、江戸有数の  
大伽藍だったのが、五重塔なんかを除いて  
戦災で焼け、戦後に復興された。経営者の  
輪島基史さんの話では、屋号が大田垣蓮月  
から来てるかは確認できてないらしいけど、  
この幕末の尼僧の送った「あだ味方 勝つ  
も負くるも哀れなり 同じ御国の人と思へ  
ば」って歌が西郷隆盛を動かし、勝海舟と  
の会談で江戸城無血開城が決まったと言  
われる、その会談の場も本門寺だった。

古今

田中康夫

浅田彰

憂国呆談

season 2 VOLUME 98

ちなみに、明治維新の主役は、安倍晋太郎が故郷の英雄と仰ぐ吉田松陰のような草莽の志士だったって言われるけど、松陰ってのは、欧米の帝国主義を恐れるあまり、それに対抗するには日本もどんだアジアを侵略せねばって発想なんだよね。そういう過激派に対し、幕府方にも勝海舟のような国際的視野をもったやつがいたし、冷戦終結時のソ連・東欧の共産党のように自らの歴史的使命が終わったことを自覚して無駄に争うことなく大政奉還に応じた、それが蓮月を悲しませた内戦をまだ小規模で終わらせたのが、最近強調されるようになった見方。ぼくもそれが正しいと思う。

会長の二人が引き続き君臨する体制を温存する「成果」にも繋がりつつあったのは痛し痒し。実際、同様の懸念を述べるSNS上の投稿が目立った。全国の各地域に根ざした活動で若い世代を育成するという大義名分を掲げて設立されたはずのJリーグ（日本プロサッカーリーグ）が、いつの間にか中央の上部団体に上納するネズミ講のように変質したピラミッド体制を刷新する機会を逸してしまったからね。若年層の人口が減少する一方なのに、Jリーグだけでも18チームが存在する。J2が22。J3が14。U-23が3。そして「Jリーグ100年構想クラブ」という奇妙な人參をぶら下げられた6チームも加えると日本プロサッカーリーグに計63ものチームが群雄割拠。その下のレイヤーのアマチュアサッカーリーグとしての日本フットボールリーグJFLにも16チーム。川淵が打ち出したJリーグの拡大路線は、矢継ぎ早に店舗展開する本部が現場との意思疎通を図れずに問題山積に陥っていく新興のフランチャイズチェーンみたいだね。「ハリルホジッチ監督の時、ほとんど勝てる可能性がないので、オランダ、イタリア、アメリカのサッカーファンのことを考えれば出場できるだけラッキーと考えるとW杯を楽しんでくださいと講演などで話していた。西野監督に変わった今は何か起きるかも知れないというドキドキ感が今朝になっ自分に出てきた（原文ママ）」と6月18日にツイートして、その言い草がスポーツマンシップかよと大ブイイングを川淵は受けた（涙）。

紀夫も白亜の洋館に暮らしていたね。  
浅田 あと、近くにはポストン美術館で東洋美術に目覚めたという日本画家・川端龍子の旧宅と記念館があり、迫力のある作品が見られるし、本門寺大堂にも絶筆となった天井画がある。ついでにぜひ。  
田中 とところで、サッカーのワールドカップはフランスの優勝で幕を閉じたけど、人口約440万人のクロアチアが決勝戦まで進んだのはある意味、快挙だ。回国では初の女性大統領コリンダ・グラバル・キタロヴィッチがサポーターたちと一緒にの便に、自費で乗り込んでいた話も話題となった。  
他方、クロアチアの隣国ボスニア・ヘルツェゴビナ出身のヴァヒド・ハリルホジッチ監督を突然に解任し、下手したら予選で3連敗かと言われていた日本は決勝トーナメントに進出して喝采を浴びたけど、川淵三郎JTL（日本トップリーグ連携機構）会長と田嶋幸三JFA（日本サッカー協会）

0対1で負けてた対ポーランド戦の終盤、決勝トーナメント進出を争うセネガ



ルがどうなるかわからないのに、日本は無意味なパス回しに徹する戦術を取り、結果、フェアプレー・ポイントでセネガルを抑えて決勝トーナメントに進出した。ルールに即して合理的な戦術に徹したのは成熟だとか言うやつもいるけど、国際サッカー連盟（FIFA）の行動規範第一条に「どんな試合をプレーする時も勝つことが目的だ。…勝つためにプレーしないのなら、相手を騙し、観客を欺き、自分に嘘をつくことになる。…全力でプレーしないのは相手への侮辱だ。試合終了の笛が鳴るまで勝つためにプレーせよ」とあるんだからね。「フェア／ファウル」ってのは「きれい／きたない」なので、世界の観客はあれを「ファウル」と感じてうんざりしたんじゃないか。

田中 フェアプレーでないのに「フェアプレー・ポイント」で決勝トーナメントに進むという（笑）。なのに田嶋は「逆にああいうサッカーをできるようになったのは凄いことだ」と現地で絶賛し、川淵も「覚悟を持っての決断は誰にもできるものではない。西野監督は本当に腹が据わっている。名監督「車椅子ラグビーでも昔は試合時間残り2分を切ったら勝ってるほうが時間稼ぎでパス回ししてたんだけど、9年くらい前にボールを持ってから40秒以内に相手コートに行かないといけない。24秒以内にゴールしに行かないといけないってルールが追加された」と呟いた、車椅子で事務職を務めている青年のほうが遙かに人間的に大人だよ。2期目に突入の田嶋は3月の会長選で「育成日本復活」を掲げたけど、い

つそ「勝利至上主義」に変えた方が二枚舌

と言われずに済む、と「日刊スポーツ」に諫められる始末。  
浅田 対して、前日にドイツを破った韓国は見事だった。確かにファウルの多いチームではあるけど、前回優勝したドイツに全力で競り勝った。両チームとも決勝トーナメントに進めなかったにもかかわらず、日本・ポーランド戦なんかよりはるかに見応えがあったね。

田中 実は1998年大会まではFIFAに入るテレビ放映権料は100億円ぐらいだったのが2002年大会で一気に10倍に跳ね上がり、今大会は3000億円以上。日本のメディアは600億円近く負担している。世界人口は70億人以上で、発展途上国でも衛星放送で試合を同時視聴可能なのに、日本語放送だけの日本は不平も言わずにミツグ君状態。

その一方でピッチを囲む電光掲示の看板に今回、日本企業は1社もなかった。FIFAパートナーズと名乗った7社はコカ・コーラ、VISAカード、ドイツのアディダス、韓国の現代・起亜自動車グループ、次回のW杯開催国カタールのカタール航空、そしてウラジミール・プーチンが首相に一日退いた2008年から大統領を4年間務めて現在は首相のドミトリー・メドヴェージェフが会長だった世界最大の天然ガス会社ガスプロム。もう1社が不動産・ホテル経営や映画製作も手掛ける中国のコングロマリット大連万達グループ。1ランク下のFIFAワールドカップスポンサーはパドワイザー、マクドナルドの米国勢に加えて、いずれも中国企業で家電メーカーの海信、会場内外でヨーグルトを無料配布した蒙牛乳業、国内1位・世界2位のシェアを誇る携帯電話会社のVIVOの計5社。



「東芝 原子力敗戦」の力作で知られる日本経済新聞の記者だった大西康之によれば、W杯前哨戦のFIFAコンフェデレーションズカップとW杯ロシア大会のスポンサーになったハイセンスは総額100億円を支払った。対ベルギー戦の時に液晶TVレダザと日本語が初めて電光掲示されたけど、それは東芝映像ソリューションの株式を95パーセント取得して傘下に収めたハイセンスの、ハイセンスな計らいだったと(苦笑)。

とまれ、スポンサーの3分の1が中国系企業。20世紀には富士フィルム、日本ビクター、キヤノン、セイコーといった企業が、日韓共同開催の2002年には東芝、富士ゼロックス、NTTも加わって、2007年にはソニーが8年間で330億円の大盤振舞でFIFAパートナーとなったのは今や追憶の彼方なんだよ。

浅田 オリピックは1984年のロサンゼルス大会から異常に商業主義化したわけだけど、FIFAの金まみれ体質はそれ以上だからね。2015年にはミシェル・プラティニUEFA(欧州サッカー連盟)会長がゼップ・ブラッター前FIFA会長に数億円の裏金を渡したとして資格停止処分を受けた。今大会で活躍したクリスティアーノ・ロナウドだって19億円の脱税容疑で税務当局と係争中でしょ。それに、オリピックはドーピングに厳しくなってきたけど、FIFAは「Don't ask, don't tell(聞かざる、言わざる)」のままだって言われてるし……。

田中 現FIFA会長のジャンニ・インフアンティノはスイス人の弁護士で、ブラッター辞任で登板するまではUEFA事務局長だった48歳。その彼が今回のW杯でビデオ副審判定(VAR)を導入した。よ

り公正にチェックするとの口実と共に、よ青天井へとスポンサー契約金額は近付いた。井勘定だった旧時代のブラッターより冷徹で狡猾な「経営者」だね。

浅田 ヴィデオ副審判定は必要だったと思うけど、そのままいけば、ピッチの周囲や上から無数のカメラで監視してAIが判定するってことになる恐れもある。人間の審判には盲点もあって誤審もするけど、フェアな人格と認められる審判なら誤審も含めてその判断に従うってのは、人間社会にとって必要なフィクションなんだけどもね。

ともあれ、日本は決勝トーナメントの初戦でベルギーに敗退。結局、世界から認められたのは、試合後の掃除だけ。ロッカールームは塵ひとつなかったし、観客席でも日本人応援団がゴミを拾って帰った、と。まあ素晴らしいことだとは思うけど(笑)。

ついでに言うとお、タイ北部チェンライでサッカーチームの12人の少年とコーチが大雨で部分的に水没した洞窟の奥深くに取り残された事件は、タイ海軍と各国のダイバーたちの協力で、奇蹟的な発見と救出に成功した——タイのダイバーが一人亡くなる悲劇もあったものの。彼らを支えた10000人とも言われるボランティアの力も大きかったらしい。ともかく、6月23日に洞窟に入った少年たちは18日目となる7月10日に全員救出された。

7月2日の発見時のニュースを見てたら、子どもたちが英語で受け答えしててさ。「いま何日?」月曜。10日も閉じ込められていたわけだ。君

田中康夫

たなか・やすお●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を歴任。最新刊は『33年後のなんとなく、クリスタル』。http://tanakayasuo.me



たちは強い。「ありがとう。どこから来たの?」「イギリス」「へえ、すごい」とか、すごくしっかりしてるんで感心。絶望的状况のなか、元僧侶の25歳のコーチがみんなに瞑想させたりしてチームの士気を保ったのがよかったとも、救出チームや病院スタッフが言っていた。サッカーがうまくならずとも、十分に価値があると思うよ。

田中 そのコーチと3人の少年が実は「無国籍」だった。200年以上前に中国から南下してタイ北部に定住した山岳民族は約93万人と全人口の1・5パーセントを占めていて、1974年に国籍を付与すると政府が決めたものの今でも4分の1が無国籍らしい。身分証明書がないのでチェンライ県外に遠征試合に出かけるのも難しいと救出後にサッカーチームの創設者が訴えて、善処される方向らしいけど。

大阪府北部地震と、西日本豪雨に見舞われる。

浅田 6月18日に大阪府北部で最大震度6弱の直下型の地震があった。ぼくの住む京都府北部では震度4だったから被害はなかったけど、後でニュースを見てびっくり。

高槻では市立寿栄小学校のプールのプロック塀が崩れ落ち、通学中の小学生が下敷きになって亡くなった。だいたい、高さ3メートルもある塀が耐震補強されてないなんて、どうかしてるよ。阪神・淡路大震災の教訓はどうなったのか。

田中 校舎を耐震構造にしました、

アスベストを抜きます、といった大規模なことはやるけど、ああいうコモディイ的なものに関する維持修繕の基準がない。市町村道の事例で説明すれば、造る時は65パーセントのお金が国から出るのに直すのは地元の自治体の予算でまかなえという、その発想が「造るから治す・護ることで創る」の新しい公共事業のあり方とは真逆なんだ。今回も高槻市の責任問題で留まって、予算構造を刷新する話まで全然いかない。

浅田 今回の地震は1596年の慶長伏見地震(豊臣秀吉の伏見城が倒れた)と同じ断層が起こしたらしい。実は、直前に愛媛と大分でも地震があって、大分では磯崎新の先祖が住んでいた瓜生島が別府湾に沈んだらしい。明らかに中央構造線に沿って連鎖してるわけ。いまその線上には伊方原発がある。加えて、9年後の1605年に起きた慶長地震は、南海トラフの起こした地震だとも言われる。どうもイヤな予感がするね。日本列島周辺で噴火活動や地震活動が活発化してるのは確かだし……。

他方、7月5日頃から西日本が記録的な豪雨に襲われ、12府県で死者・行方不明者が2000人を超える惨事になった。ぼくの住む京都の市街地はあんまり被害がなかったものの、5日から6日にかけて避難勧告やなんかでスマートフォンが鳴り続け、大変だったよ。

2013年にも上流の日吉ダムが限界に達して放流を余儀なくされ、嵐山で桂川が氾濫して両岸の10ヘクタール近くが浸水、旅館や土産物店が被害を受けたことがあった。今回も、日吉ダムで1997年の竣工以来開けたことなかった非常用ゲートから放水したにもかかわらず、桂川の浚渫や井堰の撤去で水を流れやすくする対策が功

を奏したのか、堤防から少し水が溢れた程度で、大規模な氾濫は避けられた。田中さんが前から言うとおり、浚渫のような日頃からの手入れが大事なんだな。「何十年に一度」の大雨が数年に一度は起こる時代だから、気を付けなさい。

田中 河道掘削と呼ばれる浚渫は重機を使って1平方メートル1万円強で地元業者が胸を張って担当できる地域密着型公共事業だからね。ところが国も大部分の都道府県も、こうした予算を別立てで計上していない。現場の建設事務所の人件費等も「維持修繕費」として一括りにされていて、基本中の基本である浚渫が滞っている。だから知事時代、台風一過の後に土木部・農政部・林務部の技術系職員を総動員して県管理の河川を総点検して、浚渫の補正予算を組んだよ。3000万円にも満たない金額だけど、確実に治水に役立つ。

僕のHPに「間違いだらけの日本の治水・治山まとめサイト」を設けていて、その中に「治水とは何か！ 2人の泰斗に教わったヤツシー！ ダムを知り尽くしたればこそ脱ダムに目覚めた今本博健・京大名誉教授と宮本博司・元近畿地方整備局河川部長」というYouTubeがあるので、ご覧頂けると幸いです。実は国土交通省の近畿地方整備局には彼らの哲学が今も生きていて、浅田さんも述べたように渡月橋付近の河道掘削を水害の翌年から観光客が多少減る冬の3か月間を使って開始した。その成果が今回、実を結んだと言える。これも以前から繰り返し述べているけど、「土堤原則」と呼ばれる日本の堤防の内部は土と砂だけで、コンクリート壁の隙間から水が入り込んでしまう。昨年7月に福岡・大分両県を襲った記録的豪雨で氾濫した河川や

浸水した地域は、2012年の九州北部豪雨と重なる部分が多くて、筑後川水系の花月川でも4か所も同じ場所でも越水や護岸・堤防の損壊が起きた。改修を重ねても河川の流れは簡単には変わらず、だから欧米やお隣の韓国でも、過去に決壊した場所、決壊が予想される場所には堤防の両肩から基礎まで、鋼矢板を縦に2本打ち込む強化策を行っている。国会議員時代に元建設大臣の亀井静香と共に河川局から水管理・国土保全局へと名称変更した国土省と随分とやり合ったけど、土と砂以外の「不純物」を堤防に入れられないと「天動説」を唱えるんだよ。2015年の関東・東北豪雨でも鬼怒川が200メートルにわたって決壊したでしょ。するとわずか2週間、2枚の鉄板の間に土砂を敷き詰めたコンクリートブロックの板堤防が完成と新聞が報じてね。ついに今本名誉教授が提唱する「鋼矢板工法」の治水哲学を関東地方整備局も理解したぞ、と思っていたら、「コンクリート製のブロックで補強し、強度を高めるため高さ4メートルの鉄製の板

おおよそ600枚を設置した国土省は11月以降、仮設の堤防に代わる新たな（土堤原則の）堤防建設工事を行う」と程なくNHKが報じて、ぬか喜びに終わっちゃった（苦笑）。1947年のカスリーン台風で1100人も死亡したのは利根川の堤防が決壊したからだ、と1952年に計画発表された八ツ場ダムは63年後の2013年に本体工事中で、完成予定は猛暑オリンピック



ねても河川の流れは簡単には変わらず、だから欧米やお隣の韓国でも、過去に決壊した場所、決壊が予想される場所には堤防の両肩から基礎まで、鋼矢板を縦に2本打ち込む強化策を行っている。国会議員時代に元建設大臣の亀井静香と共に河川局から水管理・国土保全局へと名称変更した国土省と随分とやり合ったけど、土と砂以外の「不純物」を堤防に入れられないと「天動説」を唱えるんだよ。2015年の関東・東北豪雨でも鬼怒川が200メートルにわたって決壊したでしょ。するとわずか2週間、2枚の鉄板の間に土砂を敷き詰めたコンクリートブロックの板堤防が完成と新聞が報じてね。ついに今本名誉教授が提唱する「鋼矢板工法」の治水哲学を関東地方整備局も理解したぞ、と思っていたら、「コンクリート製のブロックで補強し、強度を高めるため高さ4メートルの鉄製の板おおよそ600枚を設置した国土省は11月以降、仮設の堤防に代わる新たな（土堤原則の）堤防建設工事を行う」と程なくNHKが報じて、ぬか喜びに終わっちゃった（苦笑）。1947年のカスリーン台風で1100人も死亡したのは利根川の堤防が決壊したからだ、と1952年に計画発表された八ツ場ダムは63年後の2013年に本体工事中で、完成予定は猛暑オリンピック

### 浅田 彰

あさだ・あきら ●1957年兵庫県生まれ。  
京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学教授。  
83年に出版されたデビュー作『構造と力—記号論を超えて』はベストセラーに。

クが開催される2020年だよ。無論、その間も土堤原則に固執して、河道掘削も行わない。西日本に大雨特別警報を気象庁が発令後に、国交省四国地方整備局

は愛媛県の野村ダムと鹿野川ダムの放流量を逆に減らして貯水量を増やした末に安全基準の6倍もの放流を行って問題視されている。以前に現地視察をしたけど、川と川の名前から分かるように全長103キロメートルの河川の源流から海の河口まで直線わずか18キロメートルという蛇行する川の護岸補強もせずに、更に上流に山鳥坂ダムを計画しているんだ。2000年に自民党の政調会長だった亀井静香が計画中止を勧告したのに、当時の愛媛県知事が猛反発して現在も計画は生きている。その知事の名前は「魔法で出産した獣医学部」と加計学園グループの入学式で挨拶した文部官僚出身の加戸守行（怒）。

浅田 ちなみに、大雨の次の週末は一転して猛暑、京都ではなんと38度台後半が続いた。14日に京都府が京都市以外を舞台に「大京都」と称してやってくるアーティスト・イン・レジデンスの成果を京田辺に見に行ったら、酬恩庵一休寺で一休の頓智に通ずるコンセプトアル・アートを展開した鳥袋道浩をはじめ、小規模ながらもとてもおもしろかったんだけど、そこからJR学研都市線で大坂に行こうと思ったら、レール温度が規定値の59度を超えたとかで運転中止に。京都では18日には39度を突破。この日は多治見で40度を記録、40度超えは2

013年以来だっというから恐ろしい。田中 関西だけでなく関東でも23日には熊谷で41・1度と国内観測史上最高を記録。2年後の7月24日が開会式の東京オリンピックに向けて、おもてなしとしての道路への打ち水の励行を国交省や古巣の環境省と一緒に呼び掛ける都知事の小池百合子に虎の門病院での緊急MRI検査をおすすめしなくちゃ。まったくもって防空頭巾で竹槍的な精神論だ。

浅田 24日に予定されていた300人近い子どもやお年寄りや着物姿の芸妓・舞妓が参加する祇園祭の花笠巡行も猛暑で初めて中止する羽目に。事務局の八坂神社によると、気温や湿度が高い日は校外学習や部活動中止・延期などの柔軟な対応を文部科学省が通達しているのも理由のひとつらしい。2年後のオリンピックも外出禁止令という戒厳令が発令されたりして。

田中 まったく笑い話にもならない。2022年にカタルで開催されるサッカーのワールドカップは慣例を破って11月21日に開催なんだね。この時期だとドーハの平均温度が20度、平均高温も24度で、しかも千駄ヶ谷の国立競技場と違ってすべてエアコンスタジアムが誕生するらしい。12月18日が決勝戦で、それに合わせて欧州主要リーグの開催日程も大幅に変更されるのだから。イランとも親密なカタルはサウジアラビアやアラブ首長国連邦から断交されているけど、さすがはCNNやBBCと伍するアルジャジーラが生まれた国だけあって、金と汗は出すけど、口も手も出せないミッド君な日本とは大違い。こんな点だけバブル時代のダメンズな意識を引きずって、肝心なところで物も言えない地球儀「傍観」外交って（涙）。

高さ3メートルもある塀が耐震補強されていないなんてどうかしてる。



阪神・淡路大震災の教訓はどうなったのか。(浅田)